

# 申告書記載例 表面

申告する方の住所・氏名・生年月日・電話番号・個人番号  
(マイナンバー)を正確に記載し、忘れずに捺印してください。

～所得から差し引かれる金額に関すること～

<b>⑪医療費控除</b>
【支払った医療費】 支払った医療費の合計額を記載してください。 【保険金などで補填される金額】 生命保険契約等に基づき支払いを受けた医療保険金や高額療養費等による給付金の額を記載してください。
<b>⑫社会保険料控除、⑭生命保険料控除、⑮地震保険料控除</b>
支払った保険料の金額をそれぞれ記載してください。
<b>⑯寡婦(寡夫)控除、⑰勤労学生控除</b>
該当する箇所には☑をつけてください。
<b>⑱障害者控除</b>
対象者の氏名・障害の程度・ <u>個人番号</u> を記載してください。
<b>⑲配偶者控除、⑳配偶者特別控除、㉑扶養控除</b>
対象者の氏名・生年月日・続柄・ <u>個人番号</u> を記載してください。

## ●申告書を記載する時の注意点●

以下のことを忘れずに記載してください

- ・申告する年度  
(例：平成28年分→平成29年度分)
- ・申告者の住所、氏名、生年月日、電話番号、個人番号
- ・被扶養者がいる場合  
被扶養者の氏名、生年月日、同居・別居の区分、続柄、個人番号

記載漏れ等がある場合、市民税・県民税が正しく計算されないおそれがございますので、忘れずに記載してください。

対象の年度分を記載してください。

例：平成28年1月1日～12月31日・・・平成 **29** 年度分

平成 <b>29</b> 年度分		市町村民税 申告書		整理番号	
現住所		五所川原市金木町1000番地		業種又は職業	農業
1月1日現在の住所		同上		電話番号	0173-xx-0△□x
フリガナ	シウラ タロウ	フリガナ	シウラ タロウ	個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
氏名	市浦 太郎	氏名	市浦 太郎	世帯主の氏名	市浦 太郎
生年月日	昭和大 49・5・2	生年月日	昭和大 49・5・2	続柄	本人
3 所得から差し引かれる金額に関する事項					
⑩ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類	雑損控除	⑩
⑪ 医療費控除	支払った医療費	保険金などで補填される金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額	医療費控除	⑪
⑫ 社会保険料控除	社会保険の種類	支払った保険料		社会保険料控除	⑫
⑬ 地震保険料控除	地震保険料の計	旧長期損害保険料の計		地震保険料控除	⑬
⑭ 生命保険料控除	新生命保険料の計	旧生命保険料の計		生命保険料控除	⑭
⑮ 寡婦(寡夫)控除	⑯ 寡婦(寡夫)控除	⑰ 勤労学生控除		寡婦(寡夫)控除	⑮
⑯ 障害者控除	障害者の氏名	障害の程度	個人番号	障害者控除	⑯
⑲ 配偶者控除	配偶者の氏名	配偶者の生年月日	配偶者の個人番号	配偶者控除	⑲
⑳ 配偶者特別控除	配偶者の氏名	配偶者の生年月日	配偶者の個人番号	配偶者特別控除	㉑
㉑ 扶養控除	扶養者の氏名	扶養者の生年月日	扶養者の個人番号	扶養控除	㉑
⑳ 基礎控除	基礎控除			基礎控除	㉑
合計				合計	⑳

収入金額	業種	収入金額
1	農業	3,780,000
2	不動産	120,000
3	利子	
4	配当	
5	給与	60,000
6	公的年金等	24,000
7	その他	
8	短期	
9	長期	
10	一時	
合計		1,283,000

所得から差し引かれる金額	控除の種類	金額
1	雑損控除	
2	医療費控除	
3	社会保険料控除	440,460
4	生命保険料控除	56,000
5	地震保険料控除	
6	寡婦(寡夫)控除	
7	勤労学生・障害者控除	
8	配偶者控除	330,000
9	配偶者特別控除	
10	扶養控除	330,000
11	基礎控除	330,000
合計		1,286,460

分離課税に係る所得等のある方は、「市町村民税・道府県民税 申告書(分離課税専用)」を合わせて提出してください。

5 給与・公的年金等に係る所得以外(平成 4 月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の市町村民税・道府県民税の納税方法

給与から差引き(特別徴収)  
 自分で納付(普通徴収)

「個人番号」欄には、個人番号(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。)を記載してください。

非課税所得

種別	受給額
<input type="checkbox"/> 障害年金	
<input type="checkbox"/> 遺族年金	
<input type="checkbox"/> その他( )	

裏面にも記載する欄がありますから注意してください。

～収入・所得に関すること～

<b>ア・① 営業等</b>	収入金額を ア に、収入金額から必要経費を引いた所得金額を ① に記載してください。
<b>イ・② 農業</b>	収入金額を イ に、収入金額から必要経費を引いた所得金額を ② に記載してください。
<b>ウ・③ 不動産</b>	収入金額を ウ に、収入金額から必要経費を引いた所得金額を ③ に記載してください。
<b>エ・④ 利子</b>	収入金額が、そのまま所得金額となります。 収入金額を エ 及び ④ に記載してください。
<b>オ・⑤ 配当</b>	収入金額を オ に、収入金額から負債の利子を引いた所得金額を ⑤ に記載してください。
<b>カ・⑥ 給与</b>	収入金額を カ に記載してください。2ヶ所以上の給与がある場合は、合計額を記載してください。 ※所得金額については、こちらで計算しますので、記載の必要はありません。
<b>キ・③③ 雑(公的年金等)</b>	所得税や社会保険料を差し引く前の金額(源泉徴収票の「支払金額」)を キ に記載してください。2ヶ所以上の公的年金等がある場合は、合計額を記載してください。 ※所得金額については、こちらで計算しますので、記載の必要はありません。
<b>ク・③④ 雑(その他)</b>	収入金額を ク に、収入金額から必要経費を引いた所得金額を ③④ に記載してください。
<b>ケ・③⑤ 総合譲渡(短期)、コ・③⑥ 総合譲渡(長期)</b>	収入金額を ケ 又は コ に、収入金額から必要経費を引いた所得金額を ③⑤ 又は ③⑥ に記載してください。
<b>サ・③⑦ 一時</b>	収入金額を サ に、収入金額から必要経費を引いた所得金額を ③⑦ に記載してください。
<b>収入のなかった方</b>	⑨ に <u>収入なし</u> と記載し、裏面【16 生活状況に関する事項】も記載してください。
<b>非課税所得</b>	障害年金等、非課税所得のみの方は、該当する箇所には☑をつけ、年間受給額を記載してください。

